

販売開始:3D とロボットビジョン向けの Ensenso N の新モデル

アップグレードされた 3D カメラシリーズを IDS が発売

解像度と精度はほぼ 2 倍、それでも価格は据え置き。Ensenso N シリーズの 3D カメラを選べば、より高度なモデルのメリットを活用できます。新しいステレオビジョンカメラ (N31、N36、N41、N46) を IDS Imaging Development Systems から購入できるようになりました。

Ensenso N 3D カメラはコンパクトなハウジング (モデルに応じてアルミニウム製 またはプラスチック複合材製) と、内蔵パターンプロジェクターを備えています。静止物と移動物のどちらの撮影にも適しています。内蔵パターンプロジェクターは高コントラストのテクスチャを該当する物体に投影します。ランダムドットパターンによるパターンマスクで、存在しないか、ほとんど見えない表面構造を補完します。これにより、困難な照明条件でも詳細な 3D 点群を提供できます。

このたび発売された Ensenso モデル N31、N36、N41、N46 モデルは、これまで販売されている N30、N35、N40、N45 の次世代モデルとなります。見た目は前モデルのカメラと違いはありません。しかし、Sony 製の新センサー、IMX392 を使用しています。この結果、解像度が向上します (1.3 MP ではなく 2.3 MP)。すべてのカメラは事前校正済みで、セットアップが簡単です。IDS Web サイトで Ensenso 選択ツールを利用すると、正しいカメラモデルを選択できます。

しっかり固定された用途でもロボットアームでの移動用途でも、Ensenso N なら、さまざまな用途で確実な 3D 情報を提供する 3D カメラシリーズを選択できます。シングルアイテムピッキングなどで価値を発揮し、リモート制御の産業用ロボットをサポートし、物流での利用や大量のクリーニングの自動化支援にも使用できます。IDS は、Web サイトでさまざまな汎用的な用途の可能性を示す詳しい製品活用例を紹介しています。

詳しい情報は : <https://jp.ids-imaging.com/ensenso-3d-camera-n-series.html>



Ensenso N カメラで高品質の 3D 情報を提供

Ensenso 次世代モデルでデータ品質を向上

IDS Imaging Development Systems GmbH について

IDS Imaging Development Systems GmbH は、産業用カメラのトップメーカーであり、産業用画像処理におけるパイオニアです。個人経営企業の IDS は、強力な汎用 USB、GigE、3D カメラのモジュール式概念と、人工知能 (AI) 搭載のモデルを開発しました。カメラの用途はほぼ無限で、産業セクターでも非産業セクターでも、装置、プラント、機械工学で活躍しています。AI 画像処理プラットフォーム IDS NXT は汎用性に優れ、従来のルールベースの画像処理では限界に達してしまう、新たな用途分野の可能性を実現します。IDS は visionpier というオンラインマーケットプレイスを運営し、既製の画像処理ソリューションのサプライヤーと、関心を持つエンドカスタマーを、的を絞って結び付けます。

1997 年に社員 2 人の会社として創立して以来、IDS は、社員およそ 350 名の独立した ISO および環境認定ファミリー企業へと発展しました。本社はドイツ・オーバーズルムにあり、開発と生産を担っています。米国、日本、韓国、英国、フランス、オランダに子会社と支店と置き、グローバルに事業を展開しています。

アイ・ディー・エス株式会社

〒108-0073

東京都港区三田 1 丁目 3-33 三田ネクサスビル 3 階

Sales contact

電話番号: +81 3 6260 0833

apacsales@ids-imaging.com

<https://jp.ids-imaging.com>